

1993年1月

新年号

第7号

まいど



YEG

京都商工会議所青年部 会報

Young Entrepreneurs Group of the Kyoto Chamber of Commerce and Industry



(稻荷神社提供)

CONTENTS

京都商工会議所青年部 会長	2
京都商工会議所 会頭	2
企业文化委員会	3
地域研修委員会	3
臨時会員総会	3
会員委員会	3~4
新入会員紹介	4
青年部行事予定	4
Hello女性会員	4
シリーズ 京の「ライダー」	4
次年度会長	4

伏見稻荷大社のいわれ

不況の時の神頼みではありませんが、取材を兼ねて会員皆様方の商売繁盛を祈願しに伏見稻荷大社を訪ねてみました。お稲荷さんと親しまれているこの名前は、わが国最古の文献の一つとされる山城風土記によれば、「伊奈利」と書かれ、イネナリ、稻に成るが詰まつたもので、人間生活の根源であった稻によって靈徳を象徴した古語とされています。もともと稻荷信仰は、東山三十六峰の南端に位置する稻荷山を神南備とする一種の神体山信仰に始まり、名前の由来どうり五穀をはじめとする全ての食物・蚕桑などを司る神として信仰されてきましたが、中世から近世にかけて工業が興り、商業が盛んになると神格も從来の農業神から商工業の神とか屋敷神へと拡大され、今日の様な商売繁盛・産業興隆・家内安全等の守護神として全国津々浦々に約四万社とあまねく信仰を集めています。